

リニューアルに伴い主要4駅に「江ノ電ウェーブビジョン」を拡充。VSP-NS7によりネットワーク状態に左右されない新システムを実現

お客様のニーズ・課題

旧システムの老朽化により、駅ホームで広告映像を流す「江ノ電ウェーブビジョン」をリニューアル。従来の2駅から4駅へと設置を拡充し、駅構内だけでなく改札口付近でも情報を配信する。



導入効果

ネットワーク状態に依存しない、フルHD対応の新「江ノ電ウェーブビジョン」を実現。地元・観光客から注目を浴び、掲載店舗の売り上げ増加へ貢献した。CM配信に関する問い合わせも増加中。



江ノ島電鉄株式会社様

江ノ島電鉄様は、1900年に江之島電気鐵道として設立し、1902年に日本で6番目の電気鐵道として藤沢～片瀬（現江ノ島）間の営業を開始しました。1910年には藤沢～鎌倉（小町）間10キロを結ぶ全線が開通し、現在では江ノ島をはじめ稲村ヶ崎、長谷観音、大仏など名所史跡の多い鐵道として人気を集めています。また、鐵道事業だけでなく、路線バスや定期遊覧バス、夜行高速バスなど自動車業、観光業、不動産業も展開しています。

江ノ島電鉄株式会社

鐵道部 営業課長 中沢俊之様にお話を伺いました。

導入背景

新鮮な情報を発信する「江ノ電ウェーブビジョン」をリニューアル。

鐵道業の開業100周年を迎えた2002年に、鎌倉駅と藤沢駅のホーム天井から大型ディスプレイを吊り下げ、7～23時の時間帯に広告映像を流す「江ノ電ウェーブビジョン」を開設しました。当時のコンテンツは、記念切符の発売やイベント情報など江ノ電からのお知らせ、ダイヤの乱れなどの緊急情報のほか、地元の企業や個人商店などのCM、「お誕生日おめでとう」などといった個人メッセージでした。特に後者は地元に着した情報、コミュニケーションの場として喜ばれていました。しかし、2003年5月に個人情報保護法が成立し、2005年4月から全面施行されるに伴い、観光宣伝をメインとしたコンテンツへ方向転換することになりました。さらに「新鮮な情報を発信することに意味がある」として、現在では株式会社鎌倉ケーブルコミュニケーションズ様の協力のもと、「江ノ電ウェーブビジョン」専用の番組コンテンツを作成しています。このシステムの老朽化により、2009年9月に、共信コミュニケーションズ株式会社様のシステム設計・構築により、新しいシステムを導入しました。

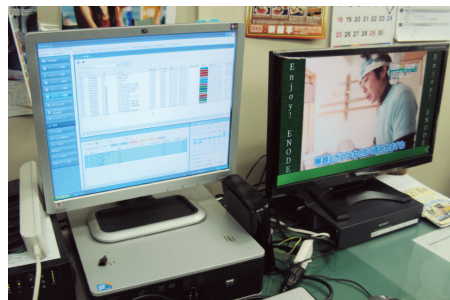


「江ノ電ウェーブビジョン」は地域の新鮮な情報を発信

選定理由

ソニーの映像技術への信頼とリスク回避可能なシステム構成が決め手。

新システムにソニー製品を採用した一番の理由は、ソニーの映像技術への信頼です。たとえばデジタルサイネージプレーヤーは、ネットワーク経由で内蔵HDDにコンテンツやスケジュール情報を蓄積し、設定スケジュールに沿って自動再生できます。万が一、ネットワークに遅延が生じてもコンテンツに影響しないなど、リスクを回避したシステム運用が可能です。また、ディスプレイは半屋外に設置するため、映像品質だけでなく堅牢性も重視しました。このような点を評価し、デジタルサイネージプレーヤー VSP-NS7 (6台) と、専用マネジメントソフトウェア VSPA-D7 (2式)、専用モニタリングソフトウェア VSPA-M7 (2式)、52V型フルHD液晶ディスプレイ GXD-L52H1 (4台)、47V型フルHD液晶ディスプレイ FWD-S47H1 (4台) などの導入を決定しました。



コンテンツは、株式会社鎌倉ケーブルコミュニケーションズ様から配信。
システム設計・構築は、共信コミュニケーションズ株式会社様が実施。

導入効果

手間のかからないシステム運用を評価。配信CMへの反響も大きく。

新システムにリニューアルするにあたり、設置駅を再考し、それまでの2駅から鎌倉、藤沢、江ノ島、長谷の4駅に拡充しました。各駅の特徴を考慮し、鎌倉駅、藤沢駅、長谷駅はディスプレイをホームに、湘南モノレールや小田急線を利用する観光客も多い江ノ島駅では待合室のほかに切符売り場の前に設置して、江ノ電の外にいるお客様の誘致も考慮しました。スピーカーから音声を流している効果もあると思いますが、どの駅でも多くのお客様が「江ノ電ウェブビジョン」に視線を向け、旧システム時代よりも足を止めて見ているお客様が圧倒的に増えたと感じています。「今度は別の季節に来てみようか」「今度はあの場所へ行ってみようか」という声も聞こえ、予定以外の場所に足を向けたり、江ノ島を再来訪するきっかけになっていると思います。

現在のコンテンツは、江ノ電の走行風景や江ノ島の風物詩、季節の花や寺院の紹介、製菓会社などの企業CM、江ノ電からのお知らせなどです。江ノ電の列車ダイヤが12分間隔であることから、トータルで15分前後の構成にして繰り返し流しています。「旬な情報」を保つため更新は月に2回行い、コンテンツはすべて入れ替えます。本社と各駅、株式会社鎌倉ケーブルコミュニケーションズ様間はbit-driveのインターネットVPNで接続し、完成したコンテンツを本社と各駅のVSP-NS7に配信します。電源のオンオフから映像表示までスケジュールに沿って実行するため、各駅で行うのはせいぜい音量調整程度と、手間のかからないシステムです。緊急情報のみ本社からテロップ挿入で配信しています。

江ノ電の全区間で1日に何度でも乗り降りできる「1日乗車券 のりおりくん」と提携している店舗CMを順次放映しているのですが、実際にCMを流した店舗から反響が大きいという評価も得ています。沿線の店舗からの、CMに関する問い合わせも増えました。



鎌倉駅ホーム



江ノ島駅改札前乗車券売り場



藤沢駅ホーム

今後の展望

誘致・集客を目指し地元客向けの情報提供や設置場所の拡大を検討。

新システムはHDに対応していますので、将来はHDコンテンツへ切り替えていきたいと思っています。また、現在は観光客向けのコンテンツがメインとなっていますが、今後は地元のみなさんへの情報提供も考慮していく予定です。さらに、駅だけでなく、江ノ電の所有する観光施設やバス停などにも「江ノ電ウェブビジョン」を設置したいという考えもあります。その場所を訪れた人々に、どのように興味を持っていただくか、江ノ電沿線に足を運んでもらうかが課題ですね。

また、今後はメンテナンスが課題にあがってくると思います。塩害対策など、すでに土地柄を考慮した対策は行っていますが、引き続き適切なメンテナンスを行って有効に活用していきたいと思っています。



観光客向けのコンテンツ以外に、地元の方々への情報提供も考慮

■システム設計・構築: 共信コミュニケーションズ株式会社様

パブリックディスプレイの商品情報やお客さま事例をご覧ください。

sony.jp/public-display/

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

記載の商品に関するお問い合わせは

ソニー業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

●FAX 0120-333-389

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2010年6月現在